

HeartCore
アーカイブ比較設定マニュアル
November 2016 Ver1.0

改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2016年11月	新規作成

目次

1. 本文書の目的	- 4 -
1.1. 目的.....	- 4 -
2. 設定手順	- 4 -
2.1. はじめに	- 4 -
2.2. 手順概要	- 4 -
2.3. NVM のインストール.....	- 4 -
2.4. NODE.JS のインストール.....	- 5 -
2.5. GRUNT のインストール.....	- 5 -
2.6. FONTCONFIG パッケージのインストール.....	- 6 -
2.7. IPA フォントのインストール	- 6 -
2.8. TOMCAT 起動設定変更.....	- 6 -
2.9. HEARTCORE の設定変更	- 7 -
3. 動作確認	- 7 -
3.1. アーカイブ化の設定.....	- 7 -
3.2. アーカイブ化	- 8 -
3.3. アーカイブ比較.....	- 9 -

1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文章は、アーカイブ比較機能の設定手順を記したものです。

本設定を実施することで、アーカイブ比較結果を視覚的に表示することができます。

2. 設定手順

2.1. はじめに

本機能は、grunt, node.js, nvm のインストールが必要です。また、視覚表示に必要なフォント及びライブラリも環境に応じて必要となります。ここでは、RedHat linux6 相当への導入を例としていきますので、各環境に応じて読みかえてください。

2.2. 手順概要

- nvm のインストール
- node.js のインストール
- grunt のインストール
- libfontconfig.so のインストール(必要に応じて)
- IPA フォントのインストール(必要に応じて)
- tomcat 起動設定変更
- HeartCore の設定変更

2.3. nvm のインストール

下記 URL より nvm をダウンロードし、インストールディレクトリに展開します。

<https://github.com/creationix/nvm>

ここでは、「usr/local/nvm」にインストールすることとします。以降の作業はこのディレクトリ下で実施してください。

nvm 実行のために下記コマンドを実行しパスを通します。

```
# source /usr/local/nvm/nvm.sh
```

```
[root@localhost localhost]# ls
bin  etc  games  include  lib  lib64  libexec  nvm  sbin  share  src  tomcat
[root@localhost nvm]# pwd
/usr/local/nvm
[root@localhost nvm]# source /usr/local/nvm/nvm.sh
```

2.4. node.js のインストール

下記コマンドで node.js をインストールします。

```
# nvm install v4.5.0
```

```
[root@localhost nvm]# nvm install v4.5.0
Downloading and installing node v4.5.0 . . .
#####100.0%
Computing checksum with sha256sum
Checksums matched!
Now using node v4.5.0 (npm v2.15.9)
Creating default alias : default -> v4.5.0
```

2.5. grunt のインストール

下記コマンドで grunt をインストールします。

```
# npm install -g grunt-cli
```

```
[root@localhost nvm]# npm install -g grunt-cli
/usr/local/nvm/versions/node/v4.5.0/bin/grunt->
/usr/local/nvm/versions/node/v4.5.0/lib/node_modules/grunt-cli/bin/grunt
grunt-cli@1.2.0 /usr/local/nvm/versions/node/v4.5.0/lib/node_modules/grunt-cli
|--grunt-known-options@1.1.0
|--nopt@3.0.6(abbrev@1.0.9)
|--resolve@1.1.7
|--findup-sync@0.3.0 (glob@5.0.15)
```

```
# npm install grunt
```

```
[root@localhost node_modules]# npm install grunt
grunt@1.0.1 grunt
|--eventemitter2@0.4.14
|--grunt-known-options@1.1.0
|--path-is-absolute@1.0.1
|--rimraf@2.2.8
|--exit@0.1.2
|--nopt@3.0.6 (abbrev@1.0.9)
|--iconv-lite@0.4.13
|--coffee-script@1.10.0
```

2.6. fontconfig パッケージのインストール

日本語フォント表示を行うため、libfontconfig.so が必要となりますので、下記コマンドを実行し fontconfig パッケージをインストールします。

```
# yum install fontconfig-devel
```

2.7. IPA フォントのインストール

日本語フォント表示を行うため、libfontconfig.so が必要となりますので、下記コマンドを実行し fontconfig パッケージをインストールします。

```
# yum install ipa-gothic-fonts ipa-mincho-fonts ipa-pgothic-fonts ipa-pmincho-fonts
```

2.8. tomcat 起動設定変更

tomcat 起動環境にて grunt を実行できるよう、「2.2.nvm のインストール」項目で実行したコマンドを tomcat シェル内に追加します。

※下記は tomcat/bin/startup.sh の設定例です。赤文字部分を追加します。

```
[tomcat/bin/startup.sh]
```

```
#!/bin/sh
```

```
source /usr/local/nvm/nvm.sh
```

```
# Licensed to the Apache Software Foundation (ASF) under one or more  
# contributor license agreements. See the NOTICE file distributed with  
# this work for additional information regarding copyright ownership.
```

```
:
```

2.9. HeartCore の設定変更

HeartCore モジュールの config.static.jsp 内に記述されている設定を切り替えます。

※下記は ROOT/config.static.jsp の設定例です。赤文字部分を変更します。

[ROOT/config.static.jsp]

変更前 : myconfig.setTemp("use_webpage_screenshot","false");

変更後 : myconfig.setTemp("use_webpage_screenshot","true");

※「config.static.jsp」ファイルを修正する場合は、ローカル保存をしてからテキストエディタで編集してください。

※vi エディタで編集・保存した場合、末尾に改行が追加されてしまいます。

3. 動作確認

3.1. アーカイブ化の設定

Web コンテンツ管理システムの設定に応じて、そのコンテンツ項目の保存時、もしくはチェックイン時、あるいは公開時に自動または手動でアーカイブすることができます。

アーカイブ化設定は初期状態では、設定されていないため一覧から有効に設定を変更します。今回の説明では、「手動-デフォルトはオン」を選択して保存します。



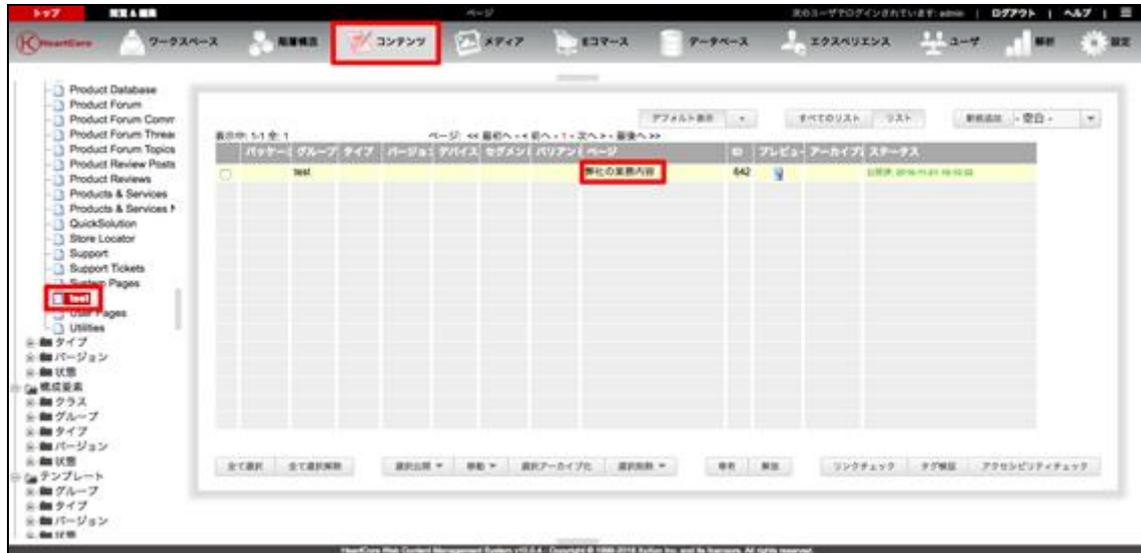
The screenshot shows the 'アーカイブ化の設定' (Archive Settings) page in the HeartCore administration system. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '設定' (Settings), 'システム' (System), '機能設定' (Feature Settings), 'コンテンツ' (Content), 'イメージ' (Image), 'ファイル' (File), 'ユーザ' (User), 'ワークフロー' (Workflow), 'バージョン' (Version), 'Eコマース' (E-commerce), and 'データベース' (Database). The main content area is titled 'アーカイブ化' (Archiving) and includes a '保存' (Save) button. The settings are as follows:

<input type="radio"/> なし	<input type="radio"/> 保存時に自動
<input checked="" type="radio"/> 手動-デフォルトはオン	<input type="radio"/> チェックイン時に自動
<input type="radio"/> 手動-デフォルトはオフ	<input type="radio"/> 公開時に自動
<input checked="" type="radio"/> 削除したコンテンツを保管しない	
<input type="radio"/> 削除したコンテンツのコピーを保管する	
期間: 0 日間	

3.2. アーカイブ化

コンテンツグループの既存コンテンツまたは、作成したコンテンツを選択します。

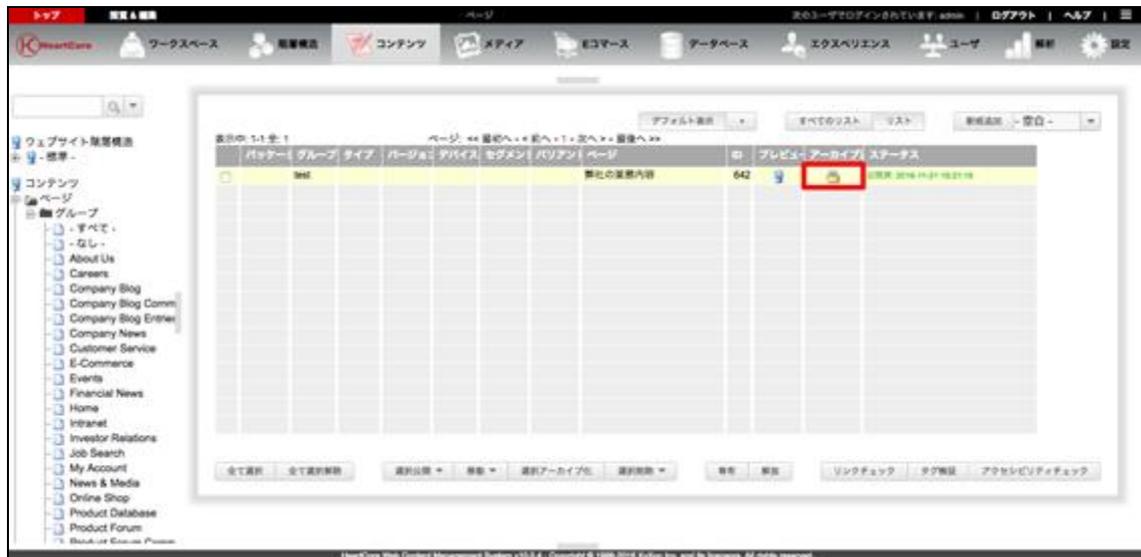
(※下記画像では、コンテンツグループを作成し、コンテンツの複製を内部に作成しています。)



コンテンツの内容を編集した後、「アーカイブ化」にチェックを入れて「保存して閉じる」を押します。



保存終了後、一覧画面が表示されます。アーカイブ済み項目にアイコンが表示されアーカイブ化されていることを確認することができます。



3.3. アーカイブ比較

コンテンツを編集した後、「比較ボタン」を押して、「比較する改訂版ページを選択」から比較対象を選択することにより、修正箇所を確認することができます。





修正箇所については、緑色、赤色で表記されます。

緑色：修正して追加した箇所

赤色：修正して削除した箇所



以上